

「かりばプラザ」更新(建替え・増設)へ！①

▼昨年末、当ニュータウン開発者の神戸市みなと総局から「かりばプラザ」リニューアル(更新＝建替え・増設)の検討に着手したいと「元気アップかりば」の場で伝えられました。▼「かりばプラザ」を主に利用する狩場台・糶台地域において、「これからの地域づくり」としてどのような施設に建替えたらいいのか、どのような施設を増設するのか、を検討していかなければなりません。とりわけ「安心して住み続けられる地域づくりへ」をめざして「かりばプラザ」の継続活性化に取り組んでいる当NPO法人にとってはたいへん重要なことです。どのように更新(建替え・増設)していくのがいいのか、これから、社員・ボランティア会員・賛助会員を始め、テナント会や地域にお住まいのみなさんといっしょに考えていきたいと思えます。▼これまで地域代表者・テナント会による「地域検討会」が3回行われ、狩場台・糶台の全世帯に呼びかけられた「ワークショップ(検討会)」が2回行われました。これらの「ワークショップ」で出された意見を集約し、それらを反映させた「事業者公募のしおり」を作成し、

公募により「事業者(優先交渉権者)」を決定し、再度「地域検討会」で「事業計画の協議」をし事業(建設工事)に着手するとのことでした。▼当初の「かりばプラザ」は、35年前から短期間で入居した活動的な子育て世代に合わせて施設が整備されたものであり、高齢者のための施設などは必要度が極めて少なかったと言えます。現在は高齢化し、そのための施設が必要になってきているとともに、住み替えにより若い子育て世代もだんだんと増えてきており、その世代のための施設も必要になってきている状況です。「かりばプラザ」は、現在及びこれからのニーズに合った施設に更新(建替え・増設)される時期にあります。▼当地域で必要とされ、かつ事業者が経営として成り立つ施設を調査・検討し、事業化してゆくことが大切です。当「コミかり通信」ではこれからシリーズで報告していきたいと思えます。

第2回 ワークショップ

8月20日(日) 午前

かりばプラザ集会所



「かりばプラザ」更新(建替え・増設)へ！②

▼「当地域で必要とされ、かつ事業者が経営として成り立つ施設を調査・検討し、事業化してゆくことが大切です。」とされた「コミかり通信第3号」から1年が経過します。▼その後、神戸市・(株)OMこうべ・地域代表者・テナント会代表者による「地域検討会」が3回行われ、少しずつ具体化してきています。ただ、民間事業者による事業提案がなかなか具体化せず、進み方がゆっくりしているように見受けられます。▼具体化されてきたことの一つは「当地域で必要とされる施設」として、「高齢者の施設・住宅」や「若いファミリーの子育て支援ができるもの」などが挙げられてきています。次に、建替えた集会所の管理運営を地域団体に委ねたく、これまで申込み受け付けや料金収納を受託し対応してきた地域代表的NPO法人コミュニティかりばと集会所建替えの具体的な内容について協議していくことになりました。これまで数回協議をし、先日8月22日(水)の「地域検討会」で提案され意見交換されています。▼新たな集会所は、現集会所の機能と現在空き店舗で運営されている休憩所・

居場所の機能を入れ込み、さらに子どもたちの居場所となれるようなものとするのが提案され意見交換されました。また、屋外広場や通路も含めてこれまでの元気アップかりばイベントなどの利用に沿って使い勝手のいいものにしていただくようにとの意見も出ました。▼8月30日(木)には、西神中央あしんすこやかセンターの主催で「高齢者の施設・住宅」などについての講演会が持たれ「高齢者の施設・住宅」は、いろいろ種類があり、それぞれどのようなものか、狩場台・糶台近辺にどのようなものがあるのか、などが説明されました。この地域には「高齢者の施設・住宅」が少なくこれから増やしていくことが必要と、またどのようなものが必要かについては今後地域の要望を把握することが必要とのことでした。▼これからさらに検討が必要となりそうです。

「高齢者の施設・住宅」講演会

8月30日(木) 14:00-16:00

かりばプラザ集会所

[主催:西神中央あしんすこやかセンター]



「かりばプラザ」更新(建替え・増設)へ！③

▼前号まで、更新・増設は「高齢化が進んだ地域に必要な施設」「住み替えにより増えてきた若い子育て世代に必要な施設」が検討され、それらはニーズだけでなく、経営として成り立つものが事業化されていく、そして、地域集会所の管理運営を地域団体にゆだねるとのこと、これまでのイベントなどの利用に使い勝手のいいものにしていくことなどをお伝えしました。▼今号ではさらに、それら新たな施設と商業施設や集会所の配置、及びまとまりとして機能を果たす近隣センターとしての運営やソフトな仕組みについて考えてみます。▼先ず「かりばプラザ」がこれまで使われ役割を果たしてきたことから、これまでの利用やその機能を検証しそれらを底上げしながら足りない部分を補うことが求められるのではないのでしょうか。さらに、新たな機能が付け加わることでよりどのように発展するのか楽しみとなります。▼具体的には、今年で10年目となっている「元 気アップかりば」の取り組みは、今後も近隣センターの経営者及びテナント各事業者(かりばプラザテナント会)・地域団体・行政などのゆるやかな連携と共同による歳時記的イベントとして継承発展をしていくことが求められています。更新(建替え・増設)する際、イベント場所として有効活

用されてきた広場・アーケード・集会所などをどのように再配置するのか、これまで必要と言われてきた広場の舞台・イベント照明・放送設備などの装置が新たに整備できるのか、などの課題が挙げられます。▼また「元気アップかりば」の構成団体をどのようにするのか、更新(建替え・増設)後の「テナント会」の構成員がどのようになるのか、増設される各種施設の事業者は「テナント会」の構成員になるのかそれとも新たな 団体を構成するのか、その場合にその団体は「元気アップかりば」の構成団体に入るのか、等々。▼さらに、当NPO法人「コミュニティかりば」が、更新(建替え・増設)後、どのような役割を果たしていくのか、「(株) OMこうべ」から「かりばプラザ」運営に係るどのような委託を受けるのか。▼いずれにしても、建替え・増設後の「かりばプラザ」が地域の近隣センター・コミュニティセンターとして機能していくためには、施設の更新とその配置をどのようにするのか、その運営の仕組みをどのようにしていくのかにかかっている ように思われます。



涼を呼ぶビアガーデン



かりば夏まつり

「かりばプラザ」更新(建替え・増設)へ！④

▼建替え・増設により「かりばプラザ」が利用しやすい近隣センター・コミュニティセンターとして機能していくためには、①施設の内容、②通路広場も含めた施設の配置、③それら施設がセンターとして機能するための運営の仕組み、の3点が大事になります。またそのため、それらを事業として進める神戸市都市局(旧みなと総局)・(株)OMこうべ、施設を建設し経営する民間事業者・店舗事業者(テナント)、および地域住民・地域団体が協力して進めることがたいへん重要です。▼先日、神戸市・(株)OMこうべから、民間事業者への事業意欲の調査が進んできたので、近々「リニューアル事業者」の公募に着手したいとの話がありました。2017(H29)年春に地域に呼び掛けられてからこの間、「地域検討会」や「ワークショップ(全世帯に呼びかけられた検討会)」などで検討が進められてきましたが、やっと事業が動き出す模様です。▼これらの「地域検討会」や「ワークショップ」などで出された意見を取り入れた「公募のしおり」により公募し「リニューアル事業者(優先交渉権者)」を決定。そしてその「事業者提案」を地域との「リニ

ューアル検討会」で協議し、建設工事に着手するとのことです。事業者に求める提案は、施設の内容・配置や工事の進め方などとのことですが、どのようなものが提案されるか楽しみです。▼「リニューアル事業者(優先交渉権者)」が決まり、その事業提案内容が明らかになったら「リニューアル検討会」で協議していくこととなりますが、どのような「検討会」とするかが課題となります。▼まず、施設の内容・配置や工事の進め方などの提案内容や地域との協議の進め方などの基本となる事柄については、地域団体の代表者が参加する「検討会」が必要となります。さらに、イベント開催などによる「かりばプラザ」の使い勝手については「元気アップかりば」を担っている構成団体の「検討会」が必要です。また、「かりばプラザ集会所」の使い勝手については、現在申込み受付や料金収納などの業務により利用者の声を聞いている「NPO法人コミュニティかりば」との協議が必要です。▼そして何より、この「かりばプラザ・リニューアル事業」について、地域住民が知り、要望など言える手立てとして、全世帯配布の「かりばプラザ・リニューアル事業ニュース」のようなものが必要と考えます。